

御嶽火山地質図の紹介

産総研地質調査総合センター
活断層・火山研究部門
及川輝樹

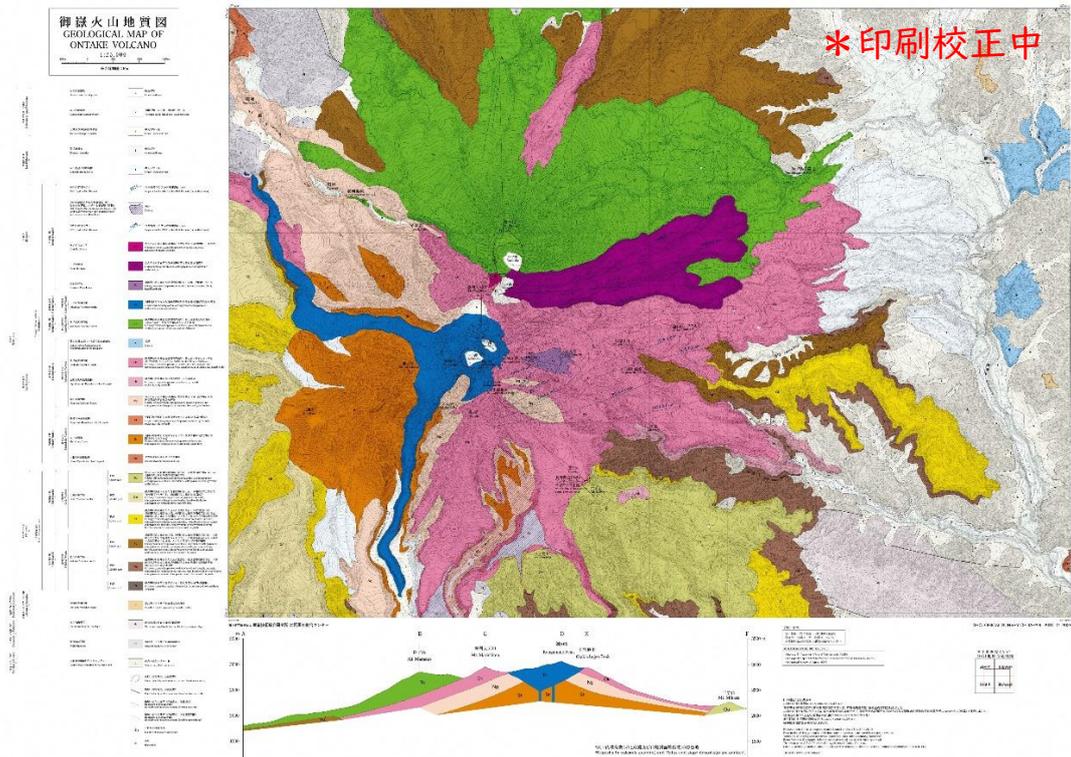
産総研地質調査総合センターは、国設の唯一の地質調査を行う研究所として、火山地域の地質図の作成を行っています。この度、御嶽火山の火山地質図を発行することになりました（2025年3月発行予定）。噴火実績図として使える2.5万分の1縮尺の地質図とあわせて御嶽火山がどのような噴火で作られてきたかや1979年や2014年などの最近の噴火についても詳しくまとめているので、防災の基礎資料や参考資料としてご活用ください。

なお、紙の地図として購入できるほか、発行後にWeb上（<https://www.gsj.jp/Map/JP/volcano.html>）からもファイルが手に入ります。また、Web上で閲覧できるシステム（地質図 Navi <https://gbank.gsj.jp/geonavi/>）もありますので、そちらからもご活用ください。

火山地質図とは

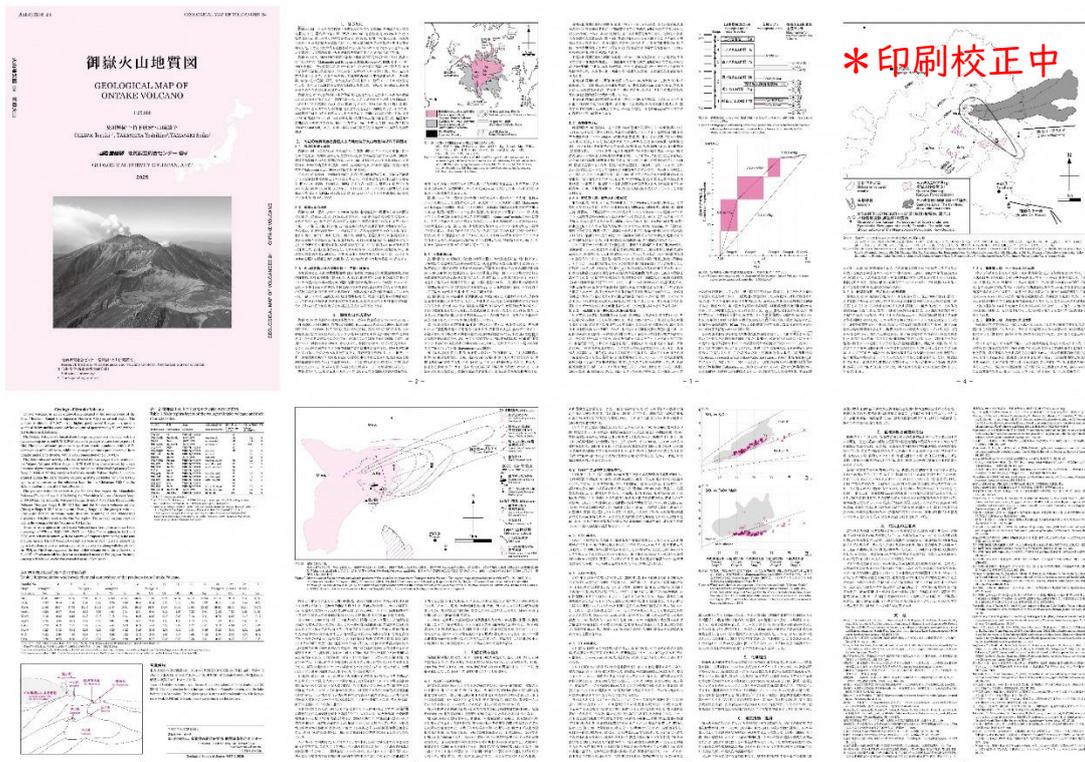
オリジナルな調査・研究を基に、火山が何時どのような噴火を経てつくられたかがわかる地質図とその解説を記した出版物です。表面に地質図を、裏面にその解説を載せた形のものを出版しています。火山の地質情報、その形成史や噴火史、最近の噴火のあらましなどをまとめているので、火山地域の防災対策の基礎資料として使えます。特に、地質図や図は質の高い噴火実績図としても使えるので、ぜひご活用ください。

この火山地質図の作成・整備は、国の知的基盤整備や災害の軽減に貢献するための噴火予知地震火山観測研究計画の建議に盛り込まれ、その作成を産総研地質調査総合センターが行っています。現在、気象庁の常時観測対象50火山のうち、36火山を整備しています。



火山地質図 No.38 御嶽火山地質図（表面）

著者：及川輝樹，竹下欣宏，山崎誠子



火山地質図 No.38 御嶽火山地質図（裏面）